

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】 / (分野)		授業形式									
AM15Z003		人間生命医科学演習(Human Life Science --- Practice)					導入教育科目 自然・科学		対面									
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員												
必修	1	1	医学部医学科	後期	火3,火4, 木3,木4	氏名 松浦 恵子 E-mail matsuura@oita-u.ac.jp 内線 5608												
<p>授業「人間生命医科学I, 人間生命医科学II, 人間生命医科学演習」の3つ全体を通して、実際の器官別臓器についての正常と疾患を、専門とする臨床・基礎医学講座教授等から直接講義を受けることができる。人体解剖生理学を通して、人体がどのように正常であるのか、またそれが異常となったときどのように疾患が起きるのか、『トートラ 人体解剖生理学』(丸善出版)をもとに全身を統一的体系的に学ぶ。医学的基礎知識を学ぶための基本的な用語を学習するだけでなく、医師となる礎となる正常と疾患の成り立ちを理解できるようにすることをめざす。「人間生命医科学演習」では、「人間生命医科学 I, II」に引き続き、泌尿器系、生殖器系、体液・電解質と酸塩基平衡、発生と遺伝について学ぶ。また顕微鏡の使い方の実践、細胞の観察について実際に体験学習する。</p>																		
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 泌尿器系について説明できる								○	○									
目標2 体液、電解質と酸塩基平衡について説明できる								○	○									
目標3 女性生殖器系について説明できる								○	○									
目標4 男性生殖器系について説明できる								○	○									
目標5 発生と遺伝について説明できる								○	○									
目標6 顕微鏡の使い方について理解し、操作できる								○	○									
目標7 細胞・組織の成り立ちの概要について顕微鏡下で観察し表現できる								○	○									
目標8 人体を構成する器官系について組織標本を観察し表現できる								○	○									
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 泌尿器系 (腎泌尿器外科)																		
2 体液、電解質と酸塩基平衡 (麻醉科)																		
3 女性生殖器系 (産婦人科)																		
4 男性生殖器系 (産婦人科、腎泌尿器外科)																		
5 発生と遺伝 (小児科)																		
6 顕微鏡の使い方 (基礎) (演習)																		
7 顕微鏡の使い方 (応用) (演習)																		
8 細胞・細胞分裂の観察 (演習)																		
9 組織の観察 (演習)																		
10 総まとめ																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
ラーニング	A:知識の定着・確認	○	1. 知識の定着・確認:穴埋め資料を用いたり、質疑応答を行う。演習の時間では実際に標本の作成や観察を行う (演習、実技、実験、観察)					工夫 その 他の	授業の内容カッコ内の講座の教授、あるいは専門の准教授等がオムニバス形式で、正常と疾患について、実践的専門的な講義をする。動画、画像を活用する。									
	B:意見の表現・交換	○	2. 意見の表現・交換:授業中に学生に意見や説明を求め、フリーディ															
	C:応用志向																	
	D:知識の活用・創造																	
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	教科書を予習する(9h)。																
	事後学修	教科書あるいは配布資料を復習する(9h)。																
教科書	佐伯由香 細谷安彦 高橋研一 桑木共之(編訳)『トートラ 人体解剖生理学 原書11版』丸善出版、2020年、ISBN 9784621305393 授業中に配布するプリントを併用する場合もある																	
参考書	参考書は指定しない。 必要な場合は、授業時に指示する。																	
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10						
	試験	80%	○	○	○	○	○											
	演習でのレポート	15%						○	○	○								
	演習でのディスカッション	5%						○	○	○								
割合	試験で教科書各章末の学習概要とキーポイント、および本文中のチェックポイントと主な図表が説明できる場合によって中間テストを行い評価に加える																	
注意事項	演習はA,Bグループに分かれる。講義は全員同時に受講する。 日程上、人間生命医科学Ⅱとの交換があり得る。																	
備考	対面の場合、座席は指定された座席表に従う																	
リンク	授業についての詳細な内容については、以下のページ (Moodle) を参照すること URL https://glms.cc.oita-u.ac.jp/																	

担当教員の 実務経験の 有無	○
教員の実務 経験	附属病院の医師
実務経験を いかした教 育内容	泌尿器・生殖器・発生と遺伝に関わる臓器の解剖、生理、病理、診断や、各種疾患の病態ならびに疾患を惹起する内的・外的因子について講義する。